

ワークショップin北茨城



文化庁の後援も受けて催された舞台・芝居の実践的講習会(マウントあかね、10月29~30日)



市内各町で公民館まつり

写真は、中郷町公民館まつり(10月30日)



中郷多目的集会所(10月30日)

きびしい質問、切実な声 市立病院の問題で市が説明会



2005年11月6日

日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週 日曜日 発行
お問合せは上記へ

10月28日から3日間、市内7ヶ所で市立総合病院の医師の大量引き揚げ問題についての説明会が開催されました。どこでも満員で、市長から17年度末までに多くの医師がやめていく背景、市立病院の今後の医



療体系、新病院の計画などが説明されました。

このなかで市長は、「これまで市立病院は、日製病院と磐城共立病院の中間で大きな役割を果たしてきた。医師の多くは筑波大から迎えてきたが、それが、研修医制度の変更や大病院の独立法人化などでむずかしくなってきた。大学には接触してお願いしているが、整形外科の医師は送れないと明確に言われた。どれだけの医師を派遣していただけるか11月末までには明らかにするのではないかと述べ、今後の医療体制については「従来と同じ水準はムリでも、これまでの9割近い体制を取り戻すよう努

力したい。特に初期救急を重点に、内科、外科を充実させ、軽傷、中傷患者は受入れるようにしたい」としています。さらに新しい病院の建設計画について、「現在は中断しているが、場所も含めて早めに発表したい」と述べました。

参加者からの質疑では「救急車で運ばれても日製がかかるか心配」「市立から他の大きな病院にかかってほしいと言われたが、日製ではカルテがないので診れないと言われた」「他の病院に行くと言ったと薬代と交通費で費用が2倍かかってしまふ」「12年間で7回手術した。多くの病気をかかえる私のような者は死ねということですか」等々の切実な質問が相次ぎました。

また、ある市民からは「行政のお粗末さで起きた問題。市長は即刻辞めるべき」「急にこうした事態になるのは無責任。議員の考えも聞きたい」などの厳しい意見も出されました

ピースコンサート

笠木 透と雑花塾
ヒューマン・ファーマーズ

11月17日(木)6:30開演
1500円

日立シビックセンター 第2音楽室

主催 九条の会 ピースリぼん
0294-21-4919 (小林)

あの日から60年、この国は戦争をしなかった。侵略をしなかった。たった60年とはいえ、こんな素晴らしい日々はかつてなかった。私たちの誇るべき歴史です。だが、その歴史が終わろうとしている。この国を、再び戦争をする国にしようと、憲法九条の改悪が意図

されている。私たちは、あの戦争に最もよく協力し、最も大きな犠牲を払った、普通の人間たちです。もう、何と云われようと武器は持たない、戦争はしない、そう心に誓い、アジアと世界の人びとに約束したのです。私たちは、憲法九条と生きて行く。(笠木 透)

女性議員5人が 施設整備で申し入れ

市女性連盟による「女性議員との懇談会」(本紙7月17日号)を受け、女性議員5人が独自に会合をもっています。

さる10月25日には、身近な公共施設を視察しました。無料なのに利用の少な



女性議員連名で市長に申し入れ

い施設もあります。そうした情報を一覧にしようと、現在とりまとめ中です。

10月31日には、市長に施設整備に関して申し入れをしました。関南多目的集会所のブラインドの修理と冷蔵庫設置、および大津町の「こどもの家」にあるガス暖房機への対処です。

さらに、児童公園の整備・増設についても市長に現状をただしました。また、道路沿いの草刈りなどでは市民の協力をあおいでいるが、行政として保険や草刈りの燃料代の補助などは検討していく、といった点が話し合われました。